



英国発の無料がん相談支援の発展 ～日本初マギーズ東京8年の歩み～

英国で始まった新しい形のがん相談支援、日本初の「マギーズ東京」が豊洲にオープンし8年。がんの療養とその暮らしの中で、仕事や生活を整えていくための情報や工夫を看護師、心理士などの専門職と一緒に探す無料のサポートについて、英国での取り組みを直接聞き、江東区の取り組みと合わせて伺う機会とします。

日時：2024年**9月10日**（火） 開演 **19:00～21:00** 開場 18:30

会場：**豊洲シビックセンター** 5階ホール 〒135-0061 東京都江東区豊洲 2-2-18
東京メトロ有楽町線 豊洲駅下車7番出口徒歩1分 新交通ゆりかもめ 豊洲駅下車改札フロア直結

対象：住民、がんと共に生きる本人・家族・友人、学生、医療保健福祉・行政・報道各関係者等すべての人

参加費：無料 定員：200名（申込順）

申込：8月6日（火）より開始

Google Forms で <https://forms.gle/Cc6ymifcZc2Q3cpr8>
電話で 03-3520-9913 マギーズ東京（平日 10:00～16:00）



問い合わせ：events@maggiestokyo.org または 電話（上記）

★同日マギーズ東京見学会を行います。（16:30～18:30） ※裏面地図参照

参加費：無料 定員：50名（申込順） 申込：Google Forms または 電話（上記）

※相談などのご利用は、平日 10:00～16:00 または 第1・3金曜 18:00～20:00 をお願いいたします。

プログラム

進行：鈴木美穂（マギーズ東京共同代表理事）

■ マギーズ東京の8年

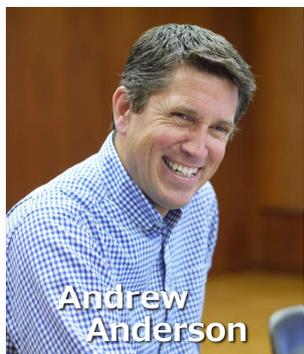
秋山正子（マギーズ東京センター長・共同代表理事）



秋山正子

■ マギーズセンター英国における 28年間の総合的がんサポート

アンドリュー・アンダーソン
（マギーズセンター 研修・人材開発責任者）



Andrew
Anderson

逐次通訳：重松加代子

■ 江東区が取り組んでいるがん対策

北村淳子（江東区健康部長）



北村淳子

■ ディスカッション

主催：認定NPO法人マギーズ東京 共催：江東区
後援：江東区医師会 がん研究会有明病院 昭和大学江東豊洲病院



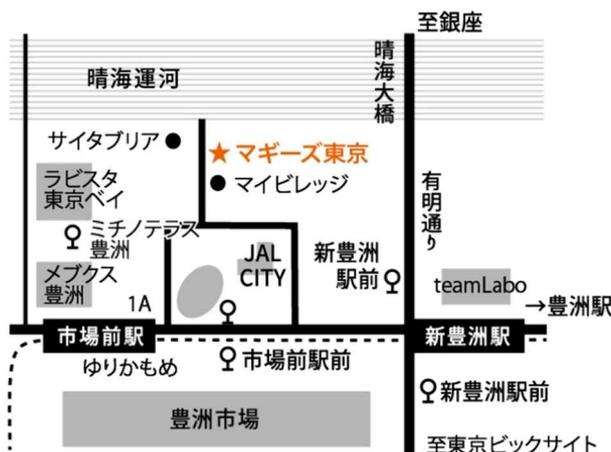
認定NPO法人 マギーズ東京

～がんに影響を受けた人が
自分の力を取り戻す場～

英国の「マギーズ キャンサー ケアリング センター」は、造園家であった創設者のマギー・K・ジェンクスが、自身のがん体験から「治療中でも、患者ではなく一人の人間でいられる場所と、友人のような道案内がほしい」と願い、無料のがん相談支援の場として 1996 年に設立されました。現在、英国を中心に世界 27 カ所に展開しています。

その初の日本版として、2016 年 10 月、東京都江東区豊洲にオープンしたマギーズ東京は、これまでに延べ約 4 万人に利用されています。ゆったり流れる運河や緑の見える場所で、がんに詳しい看護師、心理士と友人のように話をしたり、グループプログラムに参加したり、ゆっくり過ごしたりしながら、自分の力を取り戻せるよう支援を行っています。

がんと共に生きる人、その家族や友人など、がんに影響を受けるすべての人が、無料でご利用いただけるマギーズ東京は、多くの方のご寄付やご協力で運営されています。



■ マギーズ東京のご利用について

平日：10 時～16 時

夜間：毎月 第 1・3 金曜 18 時～20 時

※最新情報はホームページでご確認ください。

〒135-0061 東京都江東区豊洲 6-4-18

電話 03-3520-9913

FAX 03-3520-9914

<http://maggiestockyo.org/>



※来客用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。